

表3-1 定着部の耐力 (算定結果)

適用基準		耐力(tf)	備考	
建築基準法 せん断耐力 有効せん断伝達面積 Ac=244,000mm <sup>2</sup>	長期	27	平成12年建設省告示 第1450号	
	短期	54		
	材料強度	81		
日本建築防災協会 柱のパンチングシア耐力 (終局耐力に相当)	2-D13が7本有効	140	2001年改訂既存鉄筋 コンクリート造建築物の耐震 改修設計指針同解説	
	2-D13が半分有効	126		
	鉄筋が無効	108		
コンクリート標準示方書 設計せん断伝達耐力 (終局耐力に相当)	有効せん断伝達 面積 Ac=188,000mm <sup>2</sup>	2-D13が7本有効	98	土木学会 (コンクリート標準示方書) (構造性能照査編)
		2-D13が5本有効	83	
		2-D13が3本有効	64	
		2-D13が1本有効	36	
	有効せん断伝達 面積 Ac=244,000mm <sup>2</sup>	2-D13が7本有効	112	
		2-D13が5本有効	95	
		2-D13が3本有効	75	
		2-D13が1本有効	41	

注:コンクリート強度 60N/mm<sup>2</sup>, 補強筋の強度 295N/mm<sup>2</sup>

表3-2 定着部の耐力(実験結果)

試験体	補強筋	コンクリート強度 (N/mm <sup>2</sup> )	側面ひび割れ耐力 (tf)		最大耐力 (tf)	
			実験値	平均値	実験値	平均値
60N-1	有り	66.1	60.0	50	119.9	113
60N-2			50.0		119.3	
60N-3			40.0		100.5	
60N-4	無し	61.0	45.0	48	65.4	64
60N-5			50.0		62.4	
60N-6			47.4		65.3	

注:第一建設工業(株)による